

ロッシーニの名前を持つツバキの品種とその図像

日本が原産のツバキ(椿)は学名が「カメリア・ジャポニカ (*Camellia japonica*)」とされ、海外では通例「カメリア」と称される。ヨーロッパには16世紀にポルトガルの商人によってもたらされ、18世紀末からツバキの花の大ブームが巻き起こる。そして品種改良で美を競い、高値で取引されたことから、さまざまな名称を与えてその特色を表すようになった。

作曲家ロッシーニの名前を冠したツバキ「Camellia Rossini」もその一つで、国際ツバキ協会 (The International Camellia Society) の「国際ツバキ登録 (*The International Camellia Register*, 1991.及び補遺 1997.)」によれば、1845年の「Burdin maggiore & Co. catalogue, 1845., p.42.」にその記載があり、「Giovacchino Rossini」の名称を使用した記載と図版は1855年刊の『カメリアの新たな図像集 (*Nouvelle iconographie des camellias*)』に掲載されたと書かれている。

『カメリアの新たな図像集 (*Nouvelle iconographie des camellias*)』は、著名な園芸家アンブローズ・フェルシャフェル (Ambroise Verschaffelt, 1825-86) が1848~60年にベルギーのアントワープ [ヘント] で出版したシリーズで、彩色リトグラフによる美しい図像と個々の品種の解説が愛好家に珍重され、「カメリア、ジョヴァッキーノ・ロッシーニ (Camellia Giovacchino Rossini)」(註: Giovacchino はロッシーニの洗礼簿に書かれた名前) はその第7巻第2篇 (2e Lib) に掲載されている。

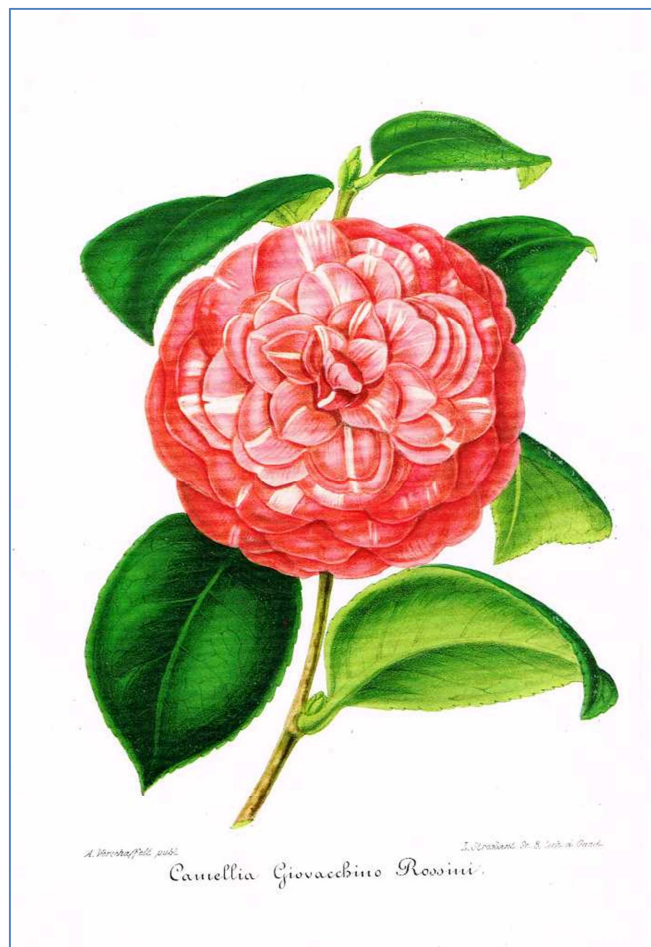
第7巻のタイトル頁記載は次のとおり。

NOUVELLE ICONOGRAPHIE / DES CAMELLIAS / CONTENANT / LES FIGURES ET LA DESCRIPTION / DES PLUS RARES, DES PLUS NOUVELLES ET DES PLUS BELLES / VARIÉTÉS DE CE GENRE./ 1855. / GAND, / CHEZ L'ÉDITEUR AMBROISE VERSCHAFFELT, FILS, / HORTICULTEUR, RUE DE CHAUME, 50.

同書の解説には、このカメリアが1853年9月に現代の最も著名な音楽家の名前を冠してフィレンツェから贈られ、フェルシャフェルのコレクションに加わり、1854年に続いて1855年にも開花した、とある(解説、図版共に頁打ちなし)。

このシリーズは古書値が1巻当たり20万円以上するため、筆者は現物を所持していない。右図は『カメリアの新たな図像集』第7巻のカラー・コピーからの複製で、周囲の余白を一部カットした。

(水谷彰良。2014年4月作成)



Camellia Giovacchino Rossini  
(*Nouvelle iconographie des camellias*, Gand,  
Chez l'éditeur, Ambroise Verschaffelt, fils., 1855.)